

「神様と共に！！」

～祝福を受け取るには！！～

ヘブル 11:6-16

息子の礼拝メッセージがいつも神様の言葉をまっすぐに伝えられますように…と、ある牧師の母は毎朝祈っていました。20年間ほぼ毎日そうではなかったのですが、息子にとって、一時のことではなく生涯に渡って大切なことを願い、託された人生が開けるような、この母のような祈りをしてほしいものです。先週語られた領収証の祈りをしていきますか？神の前で何を願っていますか？「主はあまねく全地を見渡し、その心ご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてください（第II歴 16:9）」神様がその人に願う願いがあなたの願いと同じになれば、大きな奇跡を生みます。ヘブル 11:6-16「ノアやアブラハムなど信仰によって歩んだ人々…信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え…」ノアの洪水など彼らの人生は当たり前ではありませんでした。「信仰は望んでいる事を保証し、目に見えないものを確信させるものです(11:1) もっと大事なものは「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです(11:6)」です。母親の想いというのは神の想いに非常によく似ています。①信頼関係をもつこと②いつもあなたのそばにいるんだよ③困った時はなんでも言いなさいよ。なんとかするからね。という想いです。母親も神様もその子の幸せになるその子の願いを叶えてあげたい思いは同じです。

神様と共に！！ 祝福を受け取るには！！

今幸せですか？祝福されていますか？幸せとは祝福とはなんでしょう？私たちは物質的なものや人間関係で不幸なことを、隣人から満たされようとしみます。でも満たして解決されるのは神様です。神様はあなたの父であると聖書に書かれてあります。悪魔は現代の父子関係を崩すことによって、神様とあなたの関係を壊そうとします。そして親同士、親子、新しい夫婦関係に躓きを与え誘惑してきます。神様は親子などの関係から神様との関係を学びとるようにされているので、人に躓くと神様にも躓いてしまいがちです。賛美した直後なのに、他人から悪い態度をとられたら、もう神様なんか信じないという、神様からびつくりされるような態度をとってしまいます。でも、人との関係は神様との関係に影響しないはずで、神様が本当の解決者だと信じていますか？最善をしたつもりなのに親が本当の解決者ではなかったで、その両親像が神様像となり、神様が問題を解決するとは信じきれていないのです。幸福とは思っていない部分、神様に委ねられない領域について、ヘブルのこの「信頼がなければ、神に喜ばれることはできない。神がおられることと、あなたが神に願ったことは叶えられる」ことを信じるのが神に喜ばれることを知ってください。

①信じきる！！信頼！！ 現実が益となるまで信じ待つ！！

問題が起こった時、神様はあなたに考えさせ、あなたと向き合い語り合い、大切なことを残したいのです。問題が起こった時に環境や人のせいにせず、解決者である神様の「こっちだよ」という正しい道を教える声を聴いてください。聖書のロゴスと今あなたの人生に語られる神の言葉と合わさってはじめて実が結ばれるので、ロゴスを読んでいない人は神の言葉が分からず、現実を自分で持論で解決し失敗します。心騒がせず平安で言葉を聴くためには、現実が益となるまで信じ待ってください。「努力して狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きい。」(ルカ 13:24、マタイ 7:13-14)狭い門とはイエスキリストのことですが、狭くしているのはあなたです。神様は、見いだしなさい、狭くてもよいから来なさいと言っています。それでも行かないと言う私たちを、神様は24時間まどろむことなく環境を整えたり祈りを与えたりして正しい道に戻れるようにし、解決し祈りをききます。だから現実を目を留めず、どんなに

狭い門でも飛び込まなくてははいけません。神様はあなたを回復されます。周りの人と向き合い、そこから逃げ出さないでください。必ず究極的な神の回復がなされます。

②願いは聞かれることを 信じる！！父親像の回復

世の中に問題が起こるのは、それぞれのルールが違うからです。でも大切なのは、ルールではなく、「真理がなにか(人として神の道を歩んでいるか)」ということです。杉原千恵は人々の命を助けるため、ルール違反してビザを発行しました。そのため彼は仕事を辞めざるをえなくなりました。でもそんな父親像を見て育った子孫は、正しい決断をするようになり繁栄していきました。私たちの環境下ではおそらく聖書の父親と自分の父親はかけ離れているでしょうが、聖書の父親がどんな方であるかを祈りの中で回復しなければいけません。聞いてくれない自分のお父さんなら、神様も聞いてくれないお父さんになっています。「ただし少しも疑わずに、信じてください。疑う人は…二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。(ヤコブ 1:6-8)」神様を見ないで人の言動などに影響される人は不安定です。信仰とは、信じることを迎え入れようとする行為、問題が起こったとき必ず神様がはたらかれ解決されると思うこと。24時間絶えず信じようと行動しなければなりません。

③捧げる恵み！！ 執着からの開放 天に宝を！！

影響を受ける原因は執着です。人に影響を受ける人は人間関係に執着しています。アブラハムはわが子に執着せず、主の山に備えがあり祝福されました。たとえば経済的安心を求める人がいたとしましょう。しかし、ソロモンは経済的な安心を求めなくても必要が満たされました。「自分の子がパンをくださいと言うときにだれが石を与えるでしょう。悪い者ではあっても、自分の子どもには良いものを与えることを知っているのです。なおのこと、天におられる父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありますか？なぜそこに戦いがあるのかということ、神様はその執着している部分からあなたを強くしたいからです。そこを通ることによって執着している部分が正しい価値観に変えられていくのです。執着から開放されたなら絶対に祝福され、必ず約束は守られます！執着を捨てないと祝福されません。神様は全身全霊であなたにはたらかれます。忍耐を選ぶと必ず解決します。

自分自身から神の(内)道へ

自分自身の道から神の道へ変えられていきます。それが狭い門です。神が必ず解決してくれると信じて狭い門から入ると必ず解決されます。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません(ヨハ14:6)」人ではなく、神様に祈る祈りをしましょう！

(要約者:高橋 奈津江)

(5月14日)